

学 年	高校 2 年	必修・選択の別	選択
教 科 名	任意設置科目	単 位 数	2 単位
科 目 名	Sustainable Society Research	担 当 者	山田 Sean Thomas 松野翔太
講 座	1 講座		

科目のねらい（目標）

本科目は、文部科学省の委託事業である「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」に基づく。グローバルな社会課題の解決を目指す SDGs の達成に貢献することが目標の 1 つである。各生徒の在住履歴やこれまでに培った経験や知識を生徒同士が共有する場を設け、教科・科目の垣根にとらわれない知識・技能を高め、社会を構成する市民としての能力と姿勢を身に付ける。

生徒は、1 年次に必修科目として「Sustainable Society Study (SSS)」を履修している。SSS で学んだ事柄を基礎としながら、さらに発展的な内容を取り扱う。特に、SDGs 17 の目標のうち「#11 住み続けられるまちづくりを」を中心的に扱う。

授業では、まず、「まち」という包括的な概念について、政策や教育制度、交通、環境問題等、様々な角度から考える機会を設け、現代社会が抱える社会課題を網羅的に学ぶことを目指す。実際に行われている国内外の先進的な事例も参照する。

次の段階では、政策の立案など、社会課題の解決策のための具体的な提案を行い、リサーチブックとしてまとめる。このプロセスを通じて、学んだ知識を生きたものにするとともに、答えのない問いに対して粘り強く取り組む姿勢、民主的な社会を構成する一市民としての自覚・責任感を養う。

授業形態は、1 年間を通じて、グループでのアクティブラーニングを中心とする。グループワークを通じて、Academic Skills（問題の分析・調査の方法、アイデア・問題解決の発想方法、批判的思考、他者の意見を尊重しながら議論し、その結果をまとめて発表やレポートの作成を行う技術）の習得を目指す。Academic Skills は、卒業後も一生を通じて活かされるものであり、社会や他者に積極的に関心を向け、知識を更新しながら、主体的に行動できる市民になるために重要なものである。

学習の進め方

以下の 4 つの内容を中心に進める。（予定）

- 【1】問題解決の方法論や、Academic Skills の習得を目指す。
- 【2】世界の課題やまちづくりの先進事例などについて学習する。
- 【3】まちづくりに関する一つのテーマに沿ったリサーチブックを作成する。
- 【4】フィールドワークの準備を行う。

生徒の学習上の留意点

- ・知識を得ることが必要なのはもちろんですが、知識を体系的に理解し、自ら思考することによって問題解決を目指す姿勢が大切です。論理の積み上げや地道なリサーチと同様に、高校生らしい、自分らしい自由なアイデアを大切にしてください。
- ・社会問題を他人事と考えず、社会に関心をもち、自分も社会の一員としてできることを考え、やってみることが大切です。暮らしやすい社会は、皆さん一人一人がつくっていくものです。
- ・教員は異なる教科教員によるチームティーチングで担当します。教員の間にも、関心や着眼点に差異があるでしょう。質問や相談など、積極的に関わりを持ち、それぞれの課題達成のためのヒントを得てください。
- ・グループワークでは、それぞれの長所を生かし、短所を補い合う、自分のできることで貢献する姿勢を大切にしてください。

評価方法

提出物、授業での発表や取り組み、貢献度など、総合的に判断して評価を出します。

使用教材

テーマによって、担当者が随時指示する。

授業計画

学期	授業内容（予定）	各単元のねらい
1	問題解決の方法論 基礎的 Academic Skills	アイデア発想法、問題解決法等の練習を通じて、さまざまな社会課題について幅広く学ぶ。
2	リサーチブックの作成	リサーチブックにまとめる題材を決める。作成作業を通じて、批判的・論理的に思考を積み上げる練習をする。
3	フィールドワークの準備	1・2 学期の学びをふまえて、フィールドワークの目的、行き先を決め、事前学習を行う。